

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきたくご案内いたします。
何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

■ 実施日

平成27年12月18日(金)ご依頼分より

■ 変更項目

1,5-アンヒドロ-D-グルシトール (1,5AG)	抗SS-A/Ro抗体〔ELISA〕
抗GAD抗体	抗SS-B/La抗体〔ELISA〕
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド (HANP)	抗Scl-70抗体〔ELISA〕
可溶性IL-2レセプター	抗Jo-1抗体〔ELISA〕
抗RNP抗体〔ELISA〕	TARC(Th2ケモカイン)
抗Sm抗体〔ELISA〕	

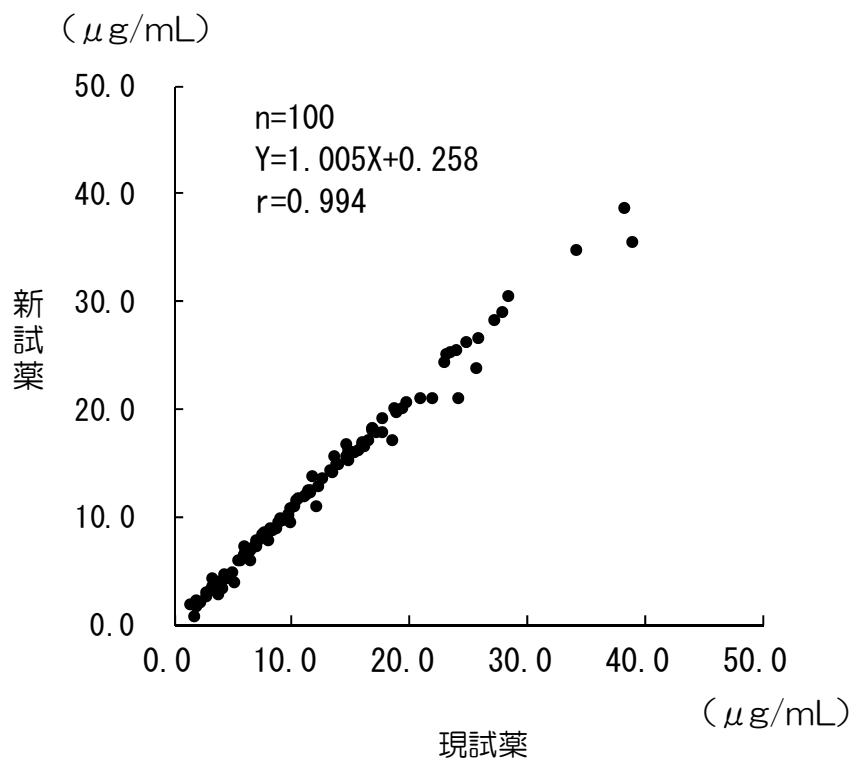
(詳しくは次頁以降をご参照ください。)

● 1,5-アンヒドロ-D-グルシトール(1,5AG)

現試薬よりも干渉物質の影響を受けにくい試薬へ変更いたします。なお、基準値に変更はございません。

掲載頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現
92	0546	1,5-アンヒドロ -D-グルシトール (1,5AG)	備考	(記載なし)	輸液後, 20時間以内の 採血は避けてくださ い。
			参考文献	遠藤 輝夫,他: 医療と検 査機器・試薬26(1):45 ~50,2003.	山内 俊一,他: 糖尿病 33(1):41~47, 1990.

▼ 現試薬と新試薬の比較

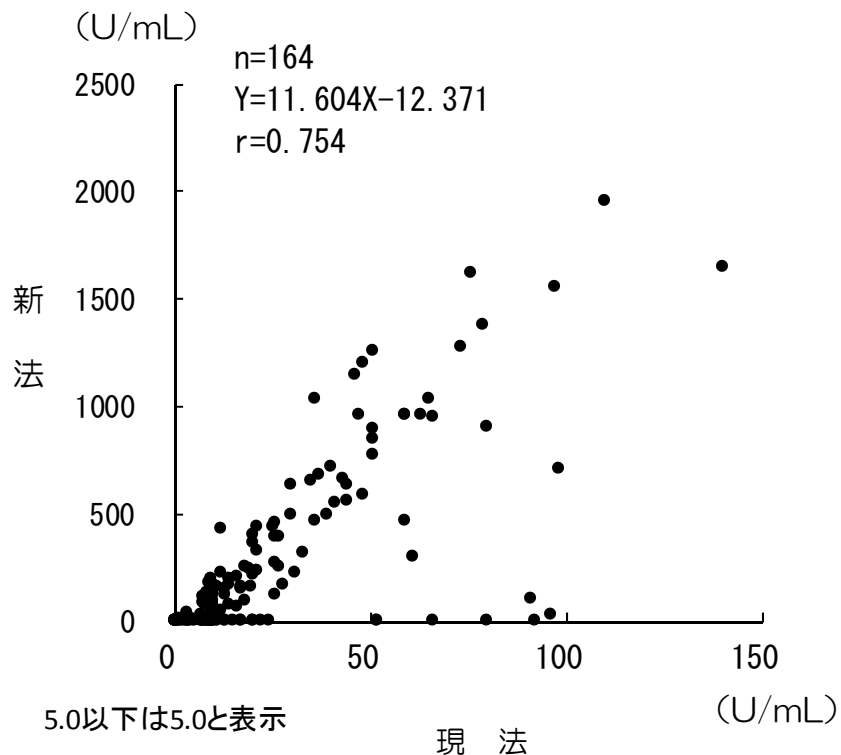


● 抗GAD抗体

現試薬の販売中止に伴い、Non-RIA試薬に変更させていただきます。新基準値はメーカー設定値です。

掲載頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現
34	3844	抗GAD抗体	検査方法	ELISA	RIA
			基準値 (単位)	5.0未満 (U/mL)	1.5未満 (U/mL)
			報告範囲	5.0未満、5.0~1990、 2000以上	0.3未満、 0.3~99900000
			備考	(記載なし)	ヒト由来抗原を使用し ています。
			参考文献	及川 洋一,他：医学と 薬学72(9)：1551~ 1560,2015.	高瀬 清美,他:ホルモン と臨床44(8)：895~ 900,1996.

▼現法と新法の比較

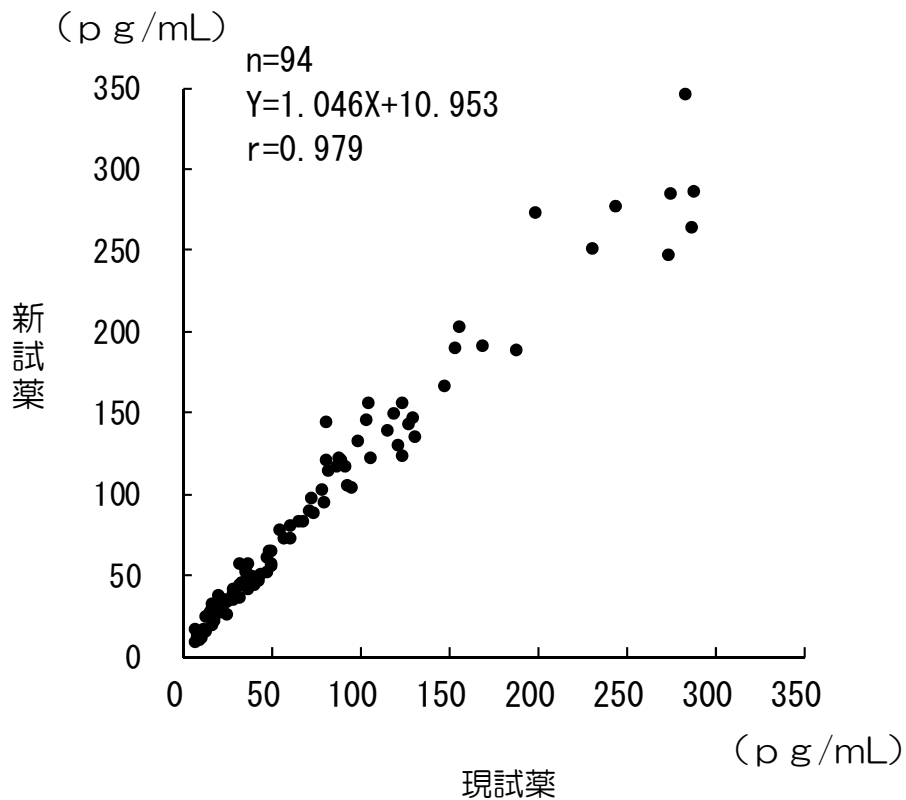


● ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)

現試薬の販売中止に伴い、同等性能の測定試薬に変更し報告範囲を再設定いたします。
 なお、基準値に変更はございません。

掲載頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現
34	3890	ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	報告範囲	5.0未満、 5.0~1990、 2000以上	5.0以下、 5.1~1290、 1300以上
			参考文献	松岡 泰弘,他:医療と検査機器・試薬33(4):535~540,2010.	下迫 賢一,他:医学と薬学57(6):901~906,2007.

▼ 現試薬と新試薬の比較

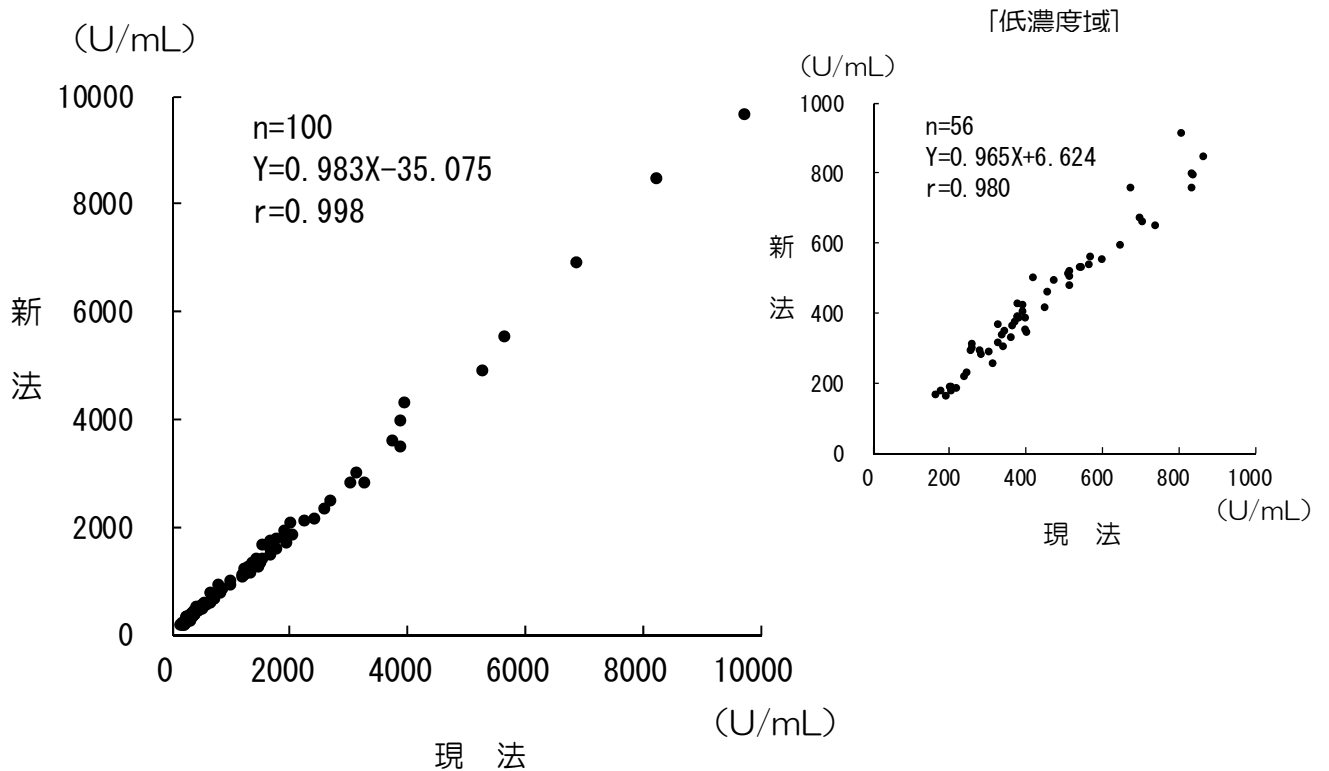


● 可溶性 IL-2レセプター

測定精度向上のため現試薬と同メーカーの試薬および全自動測定装置に変更させていただきます。これに伴い、検査方法および検体量等を変更させていただきます。
 なお、基準値に変更はございません。

掲載頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現
39	4259	可溶性 IL-2レセプター	検査方法	CLEIA	ELISA
			検体量	血清 0.5 mL	血清 0.4 mL
			報告範囲	50.0未満、 50.0~99900000	54.5未満、 54.5~99900000
			参考文献	丹部 絵梨,他:医療と検査機器・試薬37(5):649~657,2014.	宮永 雅代,他:医学と薬学63(6):905~912,2010.

▼ 現法と新法の比較



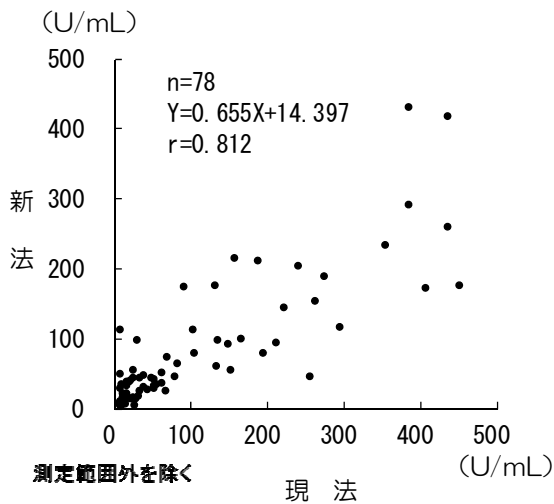
- 抗体RNP抗体 ● 抗Sm抗体 ● 抗SS-A/Ro抗体 ● 抗SS-B/La抗体
 ● 抗Scl-70抗体 ● 抗Jo-1抗体

現試薬の販売中止に伴い、CLEIA試薬に変更させていただきます。新基準値はメーカー設定値です。

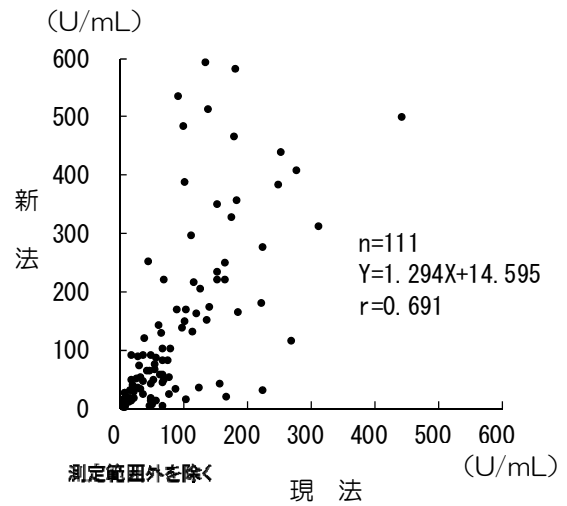
掲載頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現
各項目ともに			検査方法	CLEIA	ELISA
			基準値 (単位)	10.0未満 (U/mL)	10.0以下 (U/mL)
			備考	不活化(非働化)検体ではデータ影響を及ぼす場合がありますので避けてください。	(記載なし)
74 75	4340	抗RNP抗体	項目名称	抗RNP抗体[CLEIA]	抗RNP抗体
			報告範囲	2.0未満、2.0~549、 550以上	7.0以下、7.1~499、 500以上
	4341	抗Sm抗体	項目名称	抗Sm抗体[CLEIA]	抗Sm抗体
			報告範囲	1.0未満、1.0~599、 600以上	7.0以下、7.1~499、 500以上
	4342	抗SS-A/Ro抗体	項目名称	抗SS-A/Ro抗体 [CLEIA]	抗SS-A/Ro抗体
			報告範囲	1.0未満、1.0~1190、 1200以上	7.0以下、7.1~499、 500以上
	4343	抗SS-B/La抗体	項目名称	抗SS-B/La抗体 [CLEIA]	抗SS-B/La抗体
			報告範囲	1.0未満、1.0~999、 1000以上	7.0以下、7.1~499、 500以上
	4344	抗Scl-70抗体	項目名称	抗Scl-70抗体 [CLEIA]	抗Scl-70抗体
			報告範囲	1.0未満、1.0~849、 850以上	7.0以下、7.1~499、 500以上
	4026	抗Jo-1抗体	項目名称	抗Jo-1抗体 [CLEIA]	抗Jo-1抗体
			報告範囲	1.0未満、1.0~549、 550以上	7.0以下、7.1~499、 500以上
抗体RNP抗体、抗Sm抗体、 抗SS-A/Ro抗体、抗SS-B/La抗体			参考文献	西山 進,他：医学と薬学 68(2)：345~355,2012.	秋月 正史,他：医学と薬学 37(2)：509~520,1997.
抗Scl-70抗体、抗Jo-1抗体				松下 雅和,他：医学と薬学 70(1)：109~117,2013.	廣澤 実一,他：医学と薬学 39(1)：163~174,1998.

▼ 現法と新法の比較

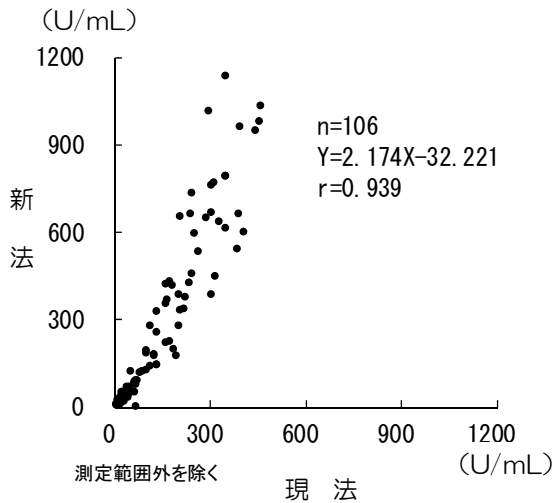
抗RNP抗体



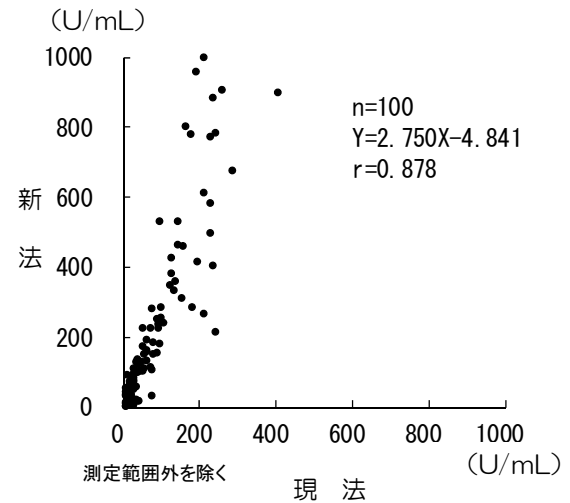
抗Sm抗体



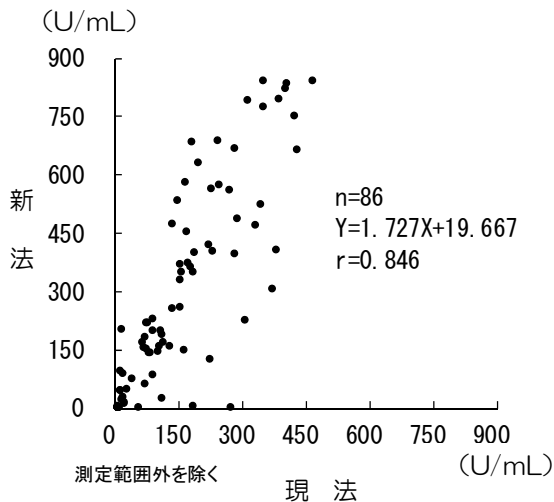
抗SS-A/Ro抗体



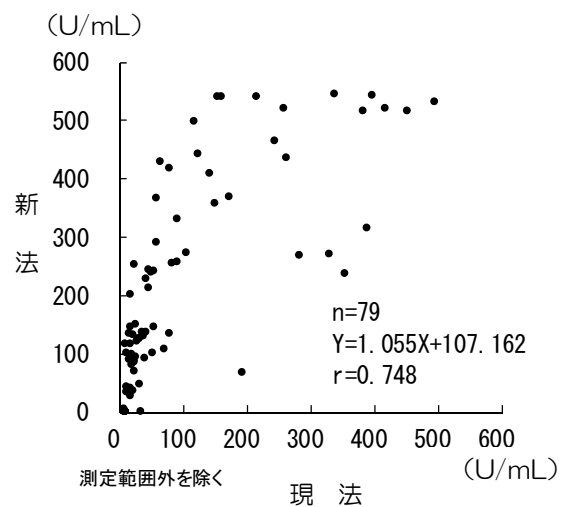
抗SS-B/La抗体



抗Scl-70抗体



抗Jo-1抗体



▼ 抗核抗体(ANA)染色型と主な関連検査および疾患

染色型	主な関連検査	主な関連疾患
Homogeneous型 (均質型)	抗DNA抗体(DNAテスト) ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
	抗DNA抗体〔RIA〕	
	抗ss-DNA IgG抗体	
	抗ss-DNA IgM抗体	
	抗ds-DNA IgG抗体	
	抗ds-DNA IgM抗体	
	抗ヒストン抗体	全身性エリテマトーデス、薬剤性ループス
抗核抗体(LEテスト)	全身性エリテマトーデス	
Peripheral型 ¹⁾ (辺縁型)	抗DNA抗体〔RIA〕	全身性エリテマトーデス
	抗ds-DNA IgG抗体	
	抗ds-DNA IgM抗体	
Speckled型 (斑紋型)	抗RNP抗体〔オクタロニー法〕	混合性結合組織病、強皮症、 全身性エリテマトーデス
	抗RNP抗体〔CLEIA〕	全身性エリテマトーデス
	抗Sm抗体〔オクタロニー法〕	
	抗Sm抗体〔CLEIA〕	全身性エリテマトーデス
	抗SS-A/Ro抗体〔オクタロニー法〕	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、関節リウマチ
	抗SS-A/Ro抗体〔CLEIA〕	
	抗SS-B/La抗体〔オクタロニー法〕	シェーグレン症候群
	抗SS-B/La抗体〔CLEIA〕	
	抗K抗体〔オクタロニー法〕 ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
	抗Ku抗体〔オクタロニー法〕 ⁴⁾	筋炎・強皮症重複症候群
抗Scl-70抗体〔オクタロニー法〕 ³⁾	強皮症	
抗Scl-70抗体〔CLEIA〕 ³⁾		
Nucleolar型 (核小体型)	抗U3RNP抗体 ⁴⁾	強皮症
	抗7-2RNP抗体 ⁴⁾	
	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	筋炎・強皮症重複症候群
	抗PM-Scl抗体 ⁴⁾	
	抗リボソームP抗体〔ELISA〕 ²⁾	
Discrete-Speckled型 (セントロメア型)	抗セントロメア抗体〔ELISA〕	強皮症(CREST症候群)、原発性胆汁性肝硬変
Cytoplasmic型 ⁵⁾ (細胞質型)	抗ミトコンドリア抗体〔FA〕	原発性胆汁性肝硬変
	抗ミトコンドリアM2抗体〔CLEIA〕	多発性筋炎・皮膚筋炎
	抗Jo-1抗体〔オクタロニー法〕	
	抗Jo-1抗体〔CLEIA〕	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、関節リウマチ
	抗SS-A/Ro抗体〔オクタロニー法〕	
	抗SS-A/Ro抗体〔CLEIA〕	
	抗リボソームP抗体〔ELISA〕 ²⁾	全身性エリテマトーデス(CNSループス)
抗平滑筋抗体	自己免疫性肝炎	
PCNA型	抗PCNA抗体〔オクタロニー法〕 ⁴⁾	全身性エリテマトーデス
PCNA様型	抗Na抗体 ⁴⁾ など	全身性エリテマトーデスなど
核膜型	抗核膜ラミン抗体 ⁴⁾	原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎など
	抗gp210抗体 ⁴⁾	
Granular型	抗p80 coilin抗体 ⁴⁾	原発性胆汁性肝硬変、シェーグレン症候群など
	抗sp-100抗体 ⁴⁾	
紡錘体型 ⁵⁾ NuMA-1 NuMA-2	抗NuMA-1抗体 ⁴⁾	シェーグレン症候群など 全身性エリテマトーデスなど
	抗NuMA-2抗体 ⁴⁾	
中心体型 ⁵⁾	抗中心体抗体 ⁴⁾	レイノー病、強皮症など
ゴルジ体型 ⁵⁾	抗golgin-97抗体 ⁴⁾ など	シェーグレン症候群、全身性エリテマトーデス、関節リウマチなど

1) Homogeneous型との鑑別は難しく、多くのPeripheral型陽性血清は希釈していくとHomogeneous型に変化します。

2) 項目の詳細につきましては営業員へお問い合わせください。

3) 染色型はSpeckled型とHomogeneous型の中間的な染色像であり、またNucleolar型が陽性となることがあります。

4) 未実施項目です。

5) 対応抗原の局在が核ではないため、狭義の抗核抗体には含まれません。

〔参考文献〕 竹内 健,他:医学検査51(9):1256~1264,2002. 三森 経世:リウマチ32(4):366~378,1992.

● TARC(Th2ケモカイン)

現試薬の製造中止に伴い、現試薬より測定レンジの広い測定試薬に変更させていただきます。併せて、検査方法を変更いたします。なお、基準値に変更はございません。

掲載頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現
83	7958	TARC (Th2ケモカイン)	検査方法	CLEIA	ELISA
			報告範囲	100未満、 100~99990000	125未満、 125~99990000
			参考文献	安江 智美,他：アレル ギーの臨床34(10)： 60~65,2014.	石田 俊雄,他：医学と 薬学 58(6)：901～ 907,2007.

▼ 現法と新法の比較

